

# 大隅地域感染症情報

2019年第39週報（9月23日～9月29日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

## ○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	該当なし	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

## ○定点把握疾患の報告数

- ・志布志保健所管内のRSウイルス感染症について、36週をピークに減少しています。
- ・鹿屋保健所管内の伝染性紅斑が増加傾向です。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			36週	37週	38週	39週	36週	37週	38週	39週	39週	38週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.13	2.25	0.75	0.25	0.20	0.00	0.00	0.00	0.15	1.08
RSウイルス感染症	-	-	0.20	1.40	1.20	1.60	8.67	4.67	2.00	1.33	1.50	3.54
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.20	0.20	0.20	0.00	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	1.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.00	0.20	0.00	0.60	0.67	0.00	0.67	0.00	0.38	1.22
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	8.60	9.40	7.60	7.80	6.00	4.67	6.67	2.33	5.75	5.06
水痘	2.00/1.00	1.00	0.40	0.40	0.80	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.41
手足口病	5.00/2.00	-	1.40	0.80	0.60	0.60	0.00	1.00	1.33	4.00	1.88	1.50
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.40	0.80	0.80	1.00	0.00	0.33	0.00	0.33	0.75	0.67
突発性発疹	-	-	0.60	0.80	0.20	1.00	0.33	0.33	0.00	0.33	0.75	0.28
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	2.80	3.20	1.20	3.40	0.33	0.33	0.00	0.67	2.38	2.46
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.40	0.60	0.20	0.40	0.33	1.33	0.33	0.00	0.25	0.11
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	1.00	0.00	3.00						2.43
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

■ 警報基準値以上

■

■ 注意報基準値以上

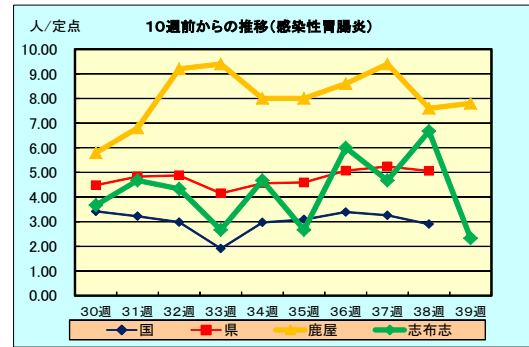
## ○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、  
鹿屋保健所管内からは39名（定点当たり報告 7.80）の報告がありました。

志布志保健所管内からは7名（定点当たり報告 2.33）の報告がありました。

年齢別では、3歳が最多でした。



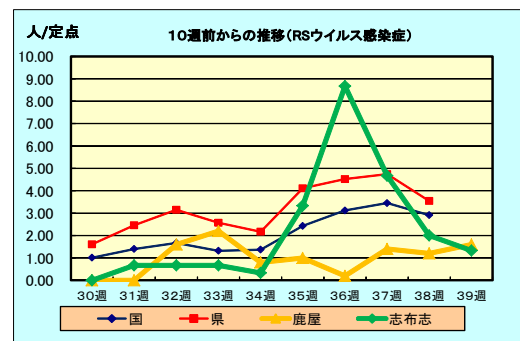
※第39週は鹿屋・志布志のみ掲載

## ○RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症の発生状況は、  
鹿屋保健所管内からは8名（定点当たり報告 1.60）の報告がありました。

志布志保健所管内からは4名（定点当たり報告 1.33）の報告がありました。

年齢別では、6～11ヶ月が最多でした。



※第39週は鹿屋・志布志のみ掲載

## インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザの報告が少しずつ増えてきています。  
インフルエンザは、会社や学校、家庭などのさまざまな場所で、いろいろな人に感染が広がります。特に、子どもや高齢者、持病がある人などは重症になることもあります。  
流行に備えて早めの対策をとりましょう。

### 【インフルエンザを予防するには】

- ・流行前に予防接種を受けましょう
- ・十分な栄養と睡眠をとりましょう
- ・外出後には手洗いをする習慣をつけましょう
- ・室内は乾燥させないようにしましょう（湿度50～60%位が適切です）

### 【インフルエンザにかかったら】

- ・早めに医療機関を受診し、治療を受けましょう  
受診の際は、周りの人にうつさないようマスクをつけることが大切です
- ・安静にして、しっかり休養をとりましょう

※学校保健安全法における出席停止の期間の基準

発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで

